



学校だより「響・創」



平成29年度 1学期始業式 (4月6日 (木))

躍動の季節を迎え、校庭の木々や草花が確かな芽吹きを見せています。

いよいよ、本日から平成29年度の新学期が始まります。

生徒の皆さん、新2年生、新3年生となった現在の心境はいかがでしょう。3年生は、「進路を決定する」という、人生の大きな節目の年となります。2年生は、文武両道に磨きをかけ「大きく成長する」ことが期待される、飛躍の年です。

そのスタートにあたり、生活をしていく上で土台となる「授業を大切にすること」、「仲間を大切にすること」、そして「きまりを守り、感謝の気持ちを忘れない」など、「当たり前のことが当たり前でできる生徒」になってください。

さて、今年度、皆さん全員の成長を期待し、二つの話をします。

1点目は「視点を高める」ということです。

皆さんは、それぞれ1学年進級し、1年前の自分より、物事を深く考えたり、また、見る視野も広がっていることと思います。

成長するとともに、意識的に視点を少しずつ上へと持っていくことが大切です。

江戸時代末期の志士 坂本龍馬は、「これしかないというものは、世の中にはない。人より一尺高いところから物事を見れば道は幾通りもある」このような言葉を残しています。

視点を高い位置に置くことで、問題そのものを発見する目が養われるとともに、その問題を解決する糸口を見出せることにつながるでしょう。また、全体と自分との関係が見えてくることで、自己を中心とした視点からも離れることができます。

これまでの自分では見えなかったものが見え、気づけなかったことに気づけようになることにより、他者に対する意識が高まることでしょう。そして、自身の人としての器をも大きくしてくれることでしょう。

2点目は「発想力」です。

幾通りの道が考えられる中、実現する道を選択する、そこで大事になってくるのが発想力です。

その発想力を育むポイントとして2つ伝えます。

一つ目は、「物事を注意深く観察すること、そして物事を少し疑って見ること」です。常識を踏まえつつも、常識あまりとらわれないで、「もっといい方法があるんじゃないかな」と、疑って見ることです。実際に実行し成功を収めた、皆さんの身近にある例を一つ紹介します。

それは、セブンイレブンの夏のおでんと冬のアイスクリームです。かつての食文化ではおでんは冬、アイスクリームは夏が常識でした。しかし、エアコンの普及により、夏は冷房で身体が冷え、冬は暖房で身体がほってしてしまう。生活の環境が変化する中、お客さんの点に立って、常識を疑った結果の成果です。

二つ目は、できないと言わない。できないと思わないことです。壁は越えることに意義があります。その壁の越えるにも様々な方法があります。ある人は、正面からぶつかって突破するかもしれません。またある人は、壁をよじ登ったり、或いは、穴を掘って越える人もいます。大事なことは、壁の向こうにたどり着くことであり、壁を越えようとあきらめず、挑戦し続けることです。

そして、これら2つに加え、「人を喜ばせたい」あるいは「学校よくしたい」など、「誰かのために」という気持ちが、より発想力を育んでくれることでしょう。

最後に、この4月から、第一中学校は小学校併設型中学校に移行しました。

これまで、皆さんが取り組んできた小中一貫教育をさらに良くしようとするものです。今までと何かが大きく変わるものではありませんが、より一層、府南学園の4つの小学校とのつながりを深め、府南学園の先輩として、小学生のモデルとなる姿を示してもらいたいと思っています。

そこで、校長先生から、皆さんに一つお願いがあります。

府南学園をより良くしていくためのアイデアを発想してもらいたいと思います。アイデアが浮かんだ人は、そつとで結構です。私に教えてください。

午後には入学式があります。

昨日、部活動の生徒たちが、新入生を迎えるための準備を、手伝ってくれました。ありがとう。

これからも、第一中学校の先輩としての行動に期待します。

それでは、みんなでいいスタートを切りましょう。

以上で始業式の挨拶を終わります。

府中市立第一中学校 校長 竹内 博行